

## 環境 NEWS (第5回)



全日本サーフキャスティング連盟本部 環境部

### ■プラスチックごみ

先月に引き続き、海のプラスチックごみについて考えてみましょう。

魚などの海洋生物、ひいては私たち人間にも悪影響を及ぼす“マイクロプラスチック”を、これ以上増やさないために。

プラスチックは、軽くて丈夫で持ち運びしやすい、様々な製品に加工しやすいなど、多くのメリットがあり、世界中で様々な製品に使われています。

しかし、その中には、レジ袋やペットボトル、使い捨ての食器、商品のパッケージなど、使い捨てにされるプラスチックもたくさんあります。そうしたプラスチックごみがポイ捨てされたり、屋外に放置されたりすると、雨や風によって河川に入り、海に流れ出てしまいます。海のプラスチックのほとんどは陸からプラスチックごみです。

海に流れ出たプラスチックのごみは、潮の流れや風の力によって遠くまで運ばれたり、水面や水中を浮遊して遠くまで運ばれたり、海底に沈んだりしています。

漂着したプラスチックごみで汚れた海岸



「捨てればごみ、分ければ資源」と言われますが、プラスチックも、きちんと分別すれば資源としてリサイクルすることができます。